



メロディのなる信号

グエン ヴァン タム
NGUYEN VAN TAM

「ピヨッ、ピヨピヨッ、ピヨッ、ピヨピヨッ…」。
メロディのなる交通信号の音です。日本に来て、初めて交通信号のメロディを聞いたとき、面白いなあと思いました。ですが、今では、そのメロディを特別な気持ちで聞くようになりました。

私は、日本へ来て一か月間、茨城県で、来日研修を受けました。研修施設は、にぎやかな街にありました。寮から研修施設まで、毎朝、一時間以上、歩いて通いました。研修施設に通う道は、景色がとてもきれいで、鳥のさえずりを聞くこともできました。ですから、疲れなんて感じませんでした。季節も四月の終わりで快適で、楽しくて充実した時間でした。

でも、歩きながら不思議に思うことがありました。信号につくと、道の上に黄色いでこぼこがあります。

「この黄色いでこぼこはなんだろう。」
と思いました。信号の下にはボタンがあります。

「このボタンは、なんだろう。」
少し待って、青信号になると、メロディがなりはじめました。私は最初びっくりしましたが、すぐにそのメロディが好きになりました。

先日、ボランティアの先生に教えてもらって、この作文コンクールに参加することにしました。何について書こうか考えて、私はきれいなメロディのなる信号について書くことにしました。そのことを先生と話していくうちに、実は

大切な意味があることを知りました。信号の下にある黄色いでこぼこ、そしてあのメロディは、目が見えない人たちのためにあることを。私は、それを聞いて、とても感動しました。日本は、経済が発展しているだけじゃなくて、きれいで、そして、一番は、いろいろな人たちに親切ですね。本当に素晴らしい国だと思います。

現在、私の故郷のベトナムは、まだ、日本のように、進んでいません。貧しい人たちもたくさんいます。そして、体の不自由は人たちは、危ない仕事や、みんながやりたくない仕事をしています。仕事を選ばませんから。生きていくために、家族のために、毎日必死に働いています。私は、いつも、体が不自由なのに頑張っている人たちは強いなあと思います。毎日の励みにもなります。私は、今、体が不自由だったり、困っている人たちのために、少しずつ募金をしています。

故郷をはなれ、日本へ来て、二年がたちました。毎日、一生懸命働いています。会社の人たちも親切です。また、日本語の勉強も好きで、N3に合格し、N2を勉強しています。

今回、先生にメロディのなる信号の意味について教えてもらってから、信号の下にある黄色いでこぼこで立ちどまり、信号のメロディを聞くたびに、国の体の不自由な人たちの思うようになりました。そして、私の国が、日本のように、国全体が親切な心を持つ国になっていくことを、いつも願っています。